



本校は平成17年度から小規模特認校の特色ある教育の一つとして、会話科の研究を重ねてきました。他校よりも先行して実践・研究してきたこともあり、宇都宮市の会話科における先進校としての授業を毎年公開しています。

城山西小学校には専属の AET (Assistant English Teacher) がおり、年間、低学年で20時間、中学年で35時間、高学年で35時間の英語活動の時間を設けています。さらに、今年度からは昼休みの後の英会話タイムを15分間に拡大し、英語活動の補充・充実を図ってきています。

昨年度からは、城山地域学校園「小中学校が連携した英語教育」の指定を受け、小学校の研究開発拠点校として、研究を進めています。2017年3月に新学習指導要領が改訂・告示され、2020年4月からは、5・6年生では「外国語活動」から「外国語科」として教科になります。地域学校園の研究として、「英語の文字遊び」を取り入れた授業や、月一回程度の地域学校園職員合同研修会に取り組んでいます。



平成28年度 5年生 大きなカードで文字遊び



平成29年度 3年生 小さなカードで文字遊び

地域学校園 英会話研修

7月12日(水)には、宇都宮市教育委員会指導主事をはじめ、地域学校園の先生方をお招きして5学年で「英会話タイム」、4学年で「英会話の時間」の授業研究会を行いました。5年生では「Occupation(職業)」の学習を通して、日本語との語順の違いを意識しながら、カードを並び替えて、なりたい職業を話すための会話文を作る活動、4年生では「Time」の学習を通して、英語で積極的に尋ねたり答えたりして友達と関わろうとするコミュニケーションの活動を行いました。活字体で書かれた文字の読み方、文の構造上のきまり等、英単語カードを効果的に活用して文字を発音したり、単語を並び替えて英文を作成したりするなどの活動をしました。子供たちが英語での問いかけに自然に反応する姿を見て、中学校の先生からも本校の児童の英語力のレベルの高さをほめていただきました。

文字を意識した取り組みを進めていることで、文字や文構造に対する抵抗を感じる児童も少なくないと思います。しかし、簡単な語句や表現を用いて英語で自分のことや身近で簡単な事柄を書くなどの文字に慣れ親しむ活動を通して、中学校での英語学習の「読む」「書く」に対する抵抗感を少しでも減らしていきたいと考えています。より良い授業とするために明らかになった課題については、今後しっかり取り組んでいきたいと思っています。これからもどうぞよろしくお願いいたします。



5年生「なりたい職業を話す文づくり」



4年生「友達の生活についてインタビュー」



川島指導主事を迎えて授業研究会